

令和5年度一般選抜 正解・解答例等（出題の意図を含む）

【小論文】

【第1問】

相対主義に関わる課題を扱った。資料内容を的確に把握する理解力、新たな問題にも柔軟に対応する能力、粘り強くかつ客観的に考えることができる思考力、みずからの考えをわかりやすく説得的に表現する能力を評価する。

設問1

筆者が指摘する相対主義の問題点を正確に捉えたかを問う。筆者の指摘は本文の複数箇所分散しているため、文章の細部と全体の両方に注目する能力も問われる。

設問2

筆者の中心的な主張を正確に捉えたかを問う。議論のポイントを的確につかんだ上で、その内容を過不足なく表現できているかが問われる。

設問3

資料内容と自身の経験・知識を適切に組み合わせ、相対主義の是非を多面的に十分検討した上で、みずからの考えをわかりやすく説得力をもって表現できているかを問う。学校現場を題材に意見を述べさせることで、教員志望者としての見識や適性も評価する。

令和5年度一般選抜 正解・解答例等（出題の意図を含む）

【小論文】

【第2問】

学校教育に関わる課題を扱った。与えられた資料の正確な解釈から論理的に整序・記述する能力を評価する。また、教育に関する基本的知識に基づいて、自身の考えを論理的に表現する能力を評価する。

設問1

データを解釈する力の程度を問う。

設問2

資料を読み取る力の程度、著者の主張の背景を読み取る力の程度について問う。

設問3

資料の読み取りや教育時事を踏まえ、将来を見通した学校教育及び教師の在り方に関するアイデアを論理的に表現する力の程度を問う。